

事業所名

エールダンジュ 東天満

支援プログラム（参考様式）

作成日

7

年

11

月

5

日

| | | | | | | | | | | | | |
|-----------|-----------------|---|---|----|-----|---------|---|--|-----|---------|----|----|
| 法人（事業所）理念 | | 未来にはばたく力をつける | | | | | | | | | | |
| 支援方針 | | 常に笑顔で | | | | | | | | | | |
| 営業時間 | | 10 | 時 | 30 | 分から | 18 | 時 | 30 | 分まで | 送迎実施の有無 | あり | なし |
| 支 援 内 容 | | | | | | | | | | | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 到着時に健康のチェック、検温、顔色等きめ細かく観察し、本人の意思表示による確認、困難な児童でも何がしたいかを推察し、意思表示の手助け、促しを行う。 衣類の着脱、排泄のトレーニング等を行う。 | | | | | | | | | | |
| | 運動・感覚 | 公文学習を通して、正しい学習姿勢を獲得、保持できるように支援する（公文申し込みのない児童の場合当該事業所で用意した学習プリントを使用） また、正しい鉛筆の持ち方や色々な遊びを通して、指の感覚等の強化改善を図る。 | | | | | | | | | | |
| | 認知・行動 | 工作を通じて、指先の感覚や認知機能の発達を促し、次の行動につなげるよう感覚を養う。また、ビジョントレーニングによって、数量、形、大きさ、色の違い重さ等の感覚を養い、それをもとに適切な情報処理を行い、次の行動につなげるよう支援する。 | | | | | | | | | | |
| | 言語 コミュニケーション | 公文学習において、フラッシュカード学習をしたり、国語学習を通して、絵と文字の認知、文字の認識、言語の獲得を訓練し、またそれを用いて、支援者とのコミュニケーションを図る。 （公文申し込みのない児童の場合当該事業所で用意した学習プリントを使用） | | | | | | | | | | |
| | 人間関係 社会性 | 自由遊びを通じて、集団におけるルール、他者との親密な関係を認知し行動するよう支援する。また、集団には他者もいることから、自己の理解やコントロールし、社会性を身に着けることによって、円滑な人間関係を気づけるよう支援する。 | | | | | | | | | | |
| 家族支援 | | 送迎時児童のその日の情報交換をし、逐次、細かく対応していく。 また、定期的に家族相談支援も行っている。 | | | | 移行支援 | | 移行の時期が来た時にその児童がすんなり受け入れてもらえるよう情報の伝達、共有や、支援配慮をする。 | | | | |
| 地域支援・地域連携 | | 送迎時、保育所、学校担任等と情報交換をし、お互いの支援につなげている。また、地域イベント等があればかわるようしていく。 | | | | 職員の質の向上 | | 毎年いくつかの研修に参加し、事業所内においてその知識を共有するべく社内研修も行っている。 | | | | |
| 主な行事等 | | ハロウィーン、クリスマス | | | | | | | | | | |